注3 **大学番号：公039**

[平成２３年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

届出

静岡県立大学大学院　薬食生命科学総合学府

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

静岡県公立大学法人

平成２５年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　事務局教育研究推進部企画調整室

職名・氏名　副参事　大石　忠男

副参事　海野　薫代

電話番号　０５４－２６４－５１０６

（夜間）　０５４－２６４－５１０６

ＦＡＸ　０５４－２６４－５０９９

ｅ－mail　tyous6@u-shizuoka-ken.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については、平成２５年３月１５日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	27
3	施設・設備の整備状況、経費	55
4	既設大学等の状況	57
5	教員組織の状況	59
6	留意事項に対する履行状況等	105
7	その他全般的事項	107

調査対象大学等の概要等

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

静岡県公立大学法人

（2）大　学　名

静　岡　県　立　大　学

（3）大学の位置

〒４２２－８５２６
静岡県静岡市駿河区谷田５２－１
（静岡県静岡市駿河区小鹿２－２－１）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　名	届　出　時	変　更　状　況	備　考
理事長	（タケウチ　ヒロシ） 竹内　宏 （平成23年４月）	（ホンジョ　タスク） 本庶　佑 （平成24年４月）	理事長の交代 （平成24年4月）（24）
学　長	（キナエ　ナオヒデ） 木苗　直秀 （平成21年３月）		
研究科長	（トヨオカ　トシマサ） 豊岡　利正 （平成23年４月）	（コバヤシ　ヒロカズ） 小林　裕和 （平成25年4月）	学府長の交代 （平成25年4月）（25）

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２３年度に報告済の内容　→（23）
　　　平成２５年度に報告する内容　→（25）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

＜薬食生命科学総合学府　薬学専攻　（博士課程）＞

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備　　考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬学専攻（博士課程） 博士（薬学）	年 4	人 8	人 32	基礎となる学部等 薬学部薬学科

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度／区分	平成２４年度		平成２５年度		平均入学定員超過率	備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	8　人 （ － ） ［ － ］		8　人 （ － ） ［ － ］		0.38倍	入学定員は社会人、留学生も含めた数であり、分けて設定をしていない
志願者数	6 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］	1 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］		
受験者数	5 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］	1 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］		
合格者数	5 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］	1 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］		
B　入学者数	5 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］	1 （ － ） ［ － ］	（　） ［　］		
入学定員超過率 B／A	0.62		0.13			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

学年＼報告年度	平成２４年度		平成２５年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] 5	[－] ―	[－] 1	[－] -	
２年次	[－] ―	[－] ―	[－] 4	[－] -	
３年次	[－] ―	[－] ―	[－] ―	[－] ―	
４年次	[－] ―	[－] ―	[－] ―	[－] ―	
計	[-] 5		[-] 5		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。

・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。

（5）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	5 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学	20.0　%
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度入学者	1 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0　%
合　計	6 人	1 人					16.7　%

(注)・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(〇人)」というように，その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

＜薬食生命科学総合学府薬科学専攻（博士前期課程）＞

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬科学専攻（博士前期課程） 修士（薬科学）	2 年	30 人	60 人	基礎となる学部等 薬学部薬科学科

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

区分＼報告年度	平成２４年度		平成２５年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	30 人 （ － ） ［ － ］		30 人 （ － ） ［ － ］		1.33倍	入学定員は社会人、留学生も含めた数であり、分けて設定をしていない
志願者数	40 （ － ） ［ 1 ］	（　） ［　］	52 （ － ） ［ 3 ］	（　） ［　］		
受験者数	40 （ － ） ［ 1 ］	（　） ［　］	50 （ － ） ［ 3 ］	（　） ［　］		
合格者数	39 （ － ） ［ 1 ］	（　） ［　］	45 （ － ） ［ 3 ］	（　） ［　］		
B　入学者数	37 （ － ） ［ 1 ］	（　） ［　］	43 （ － ） ［ 3 ］	（　） ［　］		
入学定員超過率 B／A	1.23		1.43			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 ＼ 学年	平成２４年度		平成２５年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[1] 37	[－] －	[3] 43	[－] －	
２年次	[－] －	[－] －	[1] 37	[－] －	
計	[1] 37		[4] 80		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	37 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0　%
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度入学者	43 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0　%
合　計	80 人	0 人					0.0 %

（注）・ 数字は，平成25年5月１日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月１日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学

・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

<薬食生命科学総合学府薬科学専攻（博士後期課程）>

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備　考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬科学専攻（博士後期課程） 博士（薬科学）	年 3	人 8	人 24	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度／区分	平成２４年度		平成２５年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	8 人 （－） ［－］		8 人 （－） ［－］		1.75倍	入学定員は社会人、留学生も含めた数であり、分けて設定をしていない
志願者数	12 （4） ［－］	4 （4） ［－］	14 （3） ［－］	（　） ［　］		
受験者数	12 （4） ［－］	4 （4） ［－］	14 （3） ［－］	（　） ［　］		
合格者数	12 （4） ［－］	4 （4） ［－］	14 （3） ［－］	（　） ［　］		
B　入学者数	12 （4） ［－］	4 （4） ［－］	12 （3） ［－］	（　） ［　］		
入学定員超過率 B／A	2.00		1.50			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 ＼ 学年	平成２４年度		平成２５年度		備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] 12	[－] —	[－] 12	[－] 4	
２年次	[－] —	[－] —	[－] 12	[－] —	
３年次	[－] —	[－] —	[－] —	[－] —	
計	[－] 12		[－] 28		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	16　人	0　人	平成24年度	0 人	0 人		0.0　%
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度入学者	12 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0　%
合　計	28 人	0 人					0.0 %

(注)・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(〇人)」というように，その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（5）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画 修業年限	入学定員	収容定員	備考
薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻（博士前期課程） 修士（食品栄養科学）	年 2	人 25	人 50	基礎となる学部等 食品栄養科学部 食品生命科学科 栄養生命科学科

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

区分＼報告年度	平成２３年度 春季入学	平成２３年度 その他の学期	平成２４年度 春季入学	平成２４年度 その他の学期	平成２５年度 春季入学	平成２５年度 その他の学期	平均入学定員超過率	備考
A　入学定員	人 (　) [　]	人	25人 (　) [　]	若干名	25人 (　) [　]	ー人	1.20倍	入学定員は社会人、留学生も含めた数 分けて設定をしていない
志願者数	(　) [　]	(　) [　]	50 (0) [1]	1 (0) [0]	43 (0) [1]	ー (ー) [ー]		
受験者数	(　) [　]	(　) [　]	47 (0) [1]	1 (0) [0]	41 (0) [1]	ー (ー) [ー]		
合格者数	(　) [　]	(　) [　]	35 (0) [1]	1 (0) [0]	31 (0) [1]	ー (ー) [ー]		
B　入学者数	(　) [　]	(　) [　]	33 (0) [0]	1 (0) [0]	27 (0) [1]	ー (ー) [ー]		
入学定員超過率 B／A			1.32		1.08			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「ー」を記入てください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「ー」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

学年＼報告年度	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　]	[　]	[0] 33	[0] 1	[1] 27	[0] 1	
２年次			[　]	[　]	[0] 33	[0] 0	
３年次					[　]	[　]	
計	[　]		[0] 34		[1] 61		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
- [　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- 「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
平成22年度入学者	人	人	平成21年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成24年度入学者	34　人	0　人	平成23年度	人	人		0　%
			平成24年度	人	人		
平成25年度入学者	27 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0　%
合　計	61 人	0 人					0 %

(注)・数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
・各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
・各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してく
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（5）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（5）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備　　　考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻（博士後期課程） 博士（食品栄養科学）	年 3	人 10	人 30	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 博士前期課程

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（5）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度／区分	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	人　若干名 (　　) [　　]		10人　若干名 (　　) [　　]		10人　若干名 (　　) [　　]		0.35倍	入学定員は社会人、留学生も含めた数 分けて設定をしていない。 その他の学期として秋期（10月）入学あり
志願者数	(　) [　]	0 (　) [　]	6 (3) [1]	1 (0) [0]	1 (0) [0]	0 (　) [　]		
受験者数	(　) [　]	0 (　) [　]	6 (3) [1]	1 (0) [0]	1 (0) [0]	0 (　) [　]		
合格者数	(　) [　]	0 (　) [　]	6 (3) [1]	1 (0) [0]	1 (0) [0]	0 (　) [　]		
B　入学者数	(　) [　]	0 (　) [　]	6 (3) [1]	1 (0) [0]	1 (0) [0]	0 (　) [　]		
入学定員超過率 B／A			0.6		0.1			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度／学年	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　]	[　]	[1] 6	[0] 1	[0] 1	[0] 1	
２年次	[　]	[　]	[－] －	[－] －	[1] 6	[0] 0	
３年次	[　]	[　]	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	
計	[　]		[1] 7		[1] 8		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の状況を記入してください。
- [　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- 「計」については，<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学者数</u>を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数（内訳） 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	7　人	0　人	平成24年度	人	人		0　%
			平成25年度	人	人		
平成25年度入学者	1 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0　%
合　計	8 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してく
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（5） 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

環境科学専攻（博士前期課程）

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・ 様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画 修業年限	 入学定員	 収容定員	備　　考
薬食生命科学総合学府 環境科学専攻（博士前期課程） 修士（環境科学）	年 2	人 20	人 40	基礎となる学部等 なし

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 ＼ 区分	平成２３年度 春季入学	 その他の学期	平成２４年度 春季入学	 その他の学期	平成２５年度 春季入学	 その他の学期	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員	人 （ ［	人 ） ］	20人 （ ［	一人 ） ］	20人 （ ［	一人 ） ］	0.63倍	入学定員は社会人、留学も含めた数 分けて設定をしていない。
志願者数	（　） ［　］	（　） ［　］	23 （０） ［３］	一 （一） ［一］	11 （０） ［５］	一 （一） ［一］		
受験者数	（　） ［　］	（　） ［　］	23 （０） ［３］	一 （一） ［一］	10 （０） ［５］	一 （一） ［一］		
合格者数	（　） ［　］	（　） ［　］	18 （０） ［３］	一 （一） ［一］	9 （０） ［５］	一 （一） ［一］		
B 入学者数	（　） ［　］	（　） ［　］	16 （０） ［３］	一 （一） ［一］	9 （０） ［５］	一 （一） ［一］		
入学定員超過率 B／A			0.8		0.45			

（注）・ 数字は，平成２５年５月１日現在の状況を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・「社会人」については，届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 ＼ 学年	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　]	[－]	[3] 16	[0] 0	[5] 9	[0] 0	
２年次	[　]	[－]	[　]	[－] －	[3] 16	[－] －	
３年次	[　]	[－]	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	
計	[　]		[3] 16		[8] 25		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の状況を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数</u>を記入してください。

（5）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成22年度入学者	人	人	平成21年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成24年度入学者	16　人	0　人	平成23年度	人	人		0　%
			平成24年度	人	人		
平成25年度入学者	9 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0　%
合　計	25 人	0 人					0 %

(注)・数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
・各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入して
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（5） 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

環境科学専攻（博士後期課程）

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・ 様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画 修業年限	入学定員	収容定員	備考
薬食生命科学総合学府 環境科学専攻（博士後期課程） 博士（環境科学）	3 年	7 人	21 人	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 環境科学専攻博士前期課程

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

（５）－② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分＼報告年度	平成２３年度 春季入学	平成２３年度 その他の学期	平成２４年度 春季入学	平成２４年度 その他の学期	平成２５年度 春季入学	平成２５年度 その他の学期	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員	人	人	7人	若干名	7人	若干名	0.36倍	入学定員は社会人、留学も含めた数 分けて設定をしていない。 その他の学期として秋期(10月）入学あり。
	（	）	（	）	（	）		
	[	]	[	]	[	]		
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	4 (2) [1]	1 (0) [0]	3 (0) [1]	― (―) [―]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	3 (2) [0]	0 (0) [0]	3 (0) [1]	― (―) [―]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	3 (2) [0]	0 (0) [0]	3 (0) [1]	― (―) [―]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	3 (2) [0]	0 (0) [0]	2 (0) [1]	― (―) [―]		
入学定員超過率 B／A			0.43		0.29			

（注）・ 数字は，平成２５年５月１日現在の状況を記入してください。
・（ ）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・「社会人」については，届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・[ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「―」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

学年＼報告年度	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　]	[－]	[0] 3	[0] 0	[1] 2	[0] 0	
２年次	／	／	[　]	[－] －	[0] 3	[－] －	
３年次	／	／	／	／	[－] －	[－] －	
計	[　]		[0] 3		[1] 5		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の状況を記入してください。

・　[　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。

（5）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	3　人	0　人	平成24年度	0 人	人		0　%
			平成25年度	0 人	人		
平成25年度入学者	2 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0　%
合　計	5 人	0 人					0 %

（注）・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
- 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入して
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

＜薬食生命科学総合学府薬食生命科学専攻（博士後期課程）＞

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２３年度開設の博士後期課程の場合（平成２５年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻（博士後期課程） 博士（薬食生命科学、生命薬科学）	年 3	人 5	人 15	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府薬科学専攻博士前期課程 大学院薬食生命科学総合学府食品栄養科学専攻博士前期課程

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

区分＼報告年度	平成２４年度		平成２５年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	5 人 （ − ） ［ − ］		5 人 （ − ） ［ − ］		1.50倍	入学定員は社会人、留学生も含めた数であり、分けて設定をしていない
志願者数	7 （ − ） ［ − ］	3 （ 2 ） ［ − ］	6 （ − ） ［ − ］	（　） ［　］		
受験者数	7 （ − ） ［ − ］	3 （ 2 ） ［ − ］	6 （ − ） ［ − ］	（　） ［　］		
合格者数	7 （ − ） ［ − ］	3 （ 2 ） ［ − ］	6 （ − ） ［ − ］	（　） ［　］		
B　入学者数	6 （ − ） ［ − ］	3 （ 2 ） ［ − ］	6 （ − ） ［ − ］	（　） ［　］		
入学定員超過率 B／A	1.80		1.20			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入てください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 ＼ 学年	平成２４年度		平成２５年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] 6	[－] －	[－] 6	[－] 3	
２年次	[－] －	[－] －	[－] 6	[－] －	
３年次	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	
計	[－] 6		[－] 15		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0!　%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	9 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0　%
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度入学者	6 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0　%
合　計	15 人	0 人					0.0 %

(注)・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

授業科目の概要

2　授業科目の概要

<薬食生命科学総合学府薬学専攻（博士課程）医療薬学コース>

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
必修科目	先端医療薬学特論	1･2･3	2			3	~~2~~ 3	~~3~~ 2	4			昇任に伴う変更(24)
	薬学セミナー	1～4通	4			3					~~兼18~~ 19	採用、退職に伴う変更(25)
	医療薬学演習	1～4通	6			3	~~2~~ 3	~~3~~ 2	4		~~兼28~~ 27	
	医療薬学特別実験	1～4通	12			3	~~2~~ 3	~~3~~ 2	4		~~兼30~~ 29	昇任に伴う変更(24)
	医療薬学特別演習	1～4通	4			3	~~2~~ 3	~~1~~			~~兼30~~ 29	
選択科目	糖鎖生化学特論	1･2･3･4前		1							~~兼4~~ 3	准教授1名退職に伴う変更(25)
	薬物代謝・毒性学特論	1･2･3･4前		1							兼3	
	分子薬理学特論	1･2･3･4前		1							兼4	
	薬物送達学特論	1･2･3･4前		1							兼4	
	病態分子分析学特論	1･2･3･4前		1							兼4	
	薬物動態学特論	1･2･3･4前		1							~~兼3~~ 2	助教1名退職に伴う変更(25)
	薬物放出制御学特論	1･2･3･4前		1							兼3	
	神経内分泌機能解析学特論	1･2･3･4前		1							兼3	
	免疫微生物学特論	1･2･3･4前		1							兼4	
	創薬探索学特論	1･2･3･4前		1							~~兼4~~ ~~3~~ 4	講師1名退職に伴う変更(24) 講師1名採用に伴う変更(25)
	生薬漢方薬学特論	1･2･3･4前		1							兼4	
自由選択科目	健康長寿科学特論	1～4			1						~~兼13~~ 12	准教授1名退職に伴う変更(25)
	食品科学特論II	1～4			2						~~兼10~~ 9	教授1名退職に伴う変更(26)
	栄養科学特論II	1～4			2						兼9	
	人類遺伝学特論II	1～4			1						兼1	
	遺伝学特論	1～4			1						兼4	
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1～4			1						兼1	
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1～4			1						兼1	
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1～4			1						兼1	
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1～4			1						兼1	
	科学英語：アカデミック・ライティング	1～4			1						兼1	
	科学英語海外研修プログラム	1～4			2						兼1	
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1～4			1						兼1	
	科学英語：学生主導型ディスカッションII	1～4			1						兼1	

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成24年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，記入してください。

（2）授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	11	13	29	5 [0]	11 [0]	13 [0]	29 [0]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府薬学専攻（博士課程）臨床薬学コース＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
必修科目	先端臨床薬学特論１	1･2･3	2			2	1	3	1			
	先端臨床薬学特論２	1･2･3	2			1		1				
	臨床薬学演習	1～4通	6			3	1	4	2		兼1	
	臨床薬学実習	1～4通	4			3	1	4	2		兼1	
	臨床薬学特別実験	1～4通	12			3	1	4	2		兼~~7~~ 8	届出時の誤記(24)
	臨床薬学特別演習	1～4通	4			3	1	1			兼3	
選択科目												
自由選択科目	健康長寿科学特論	1・2・3・4前			1						兼~~13~~ 12	オムニバス 准教授1名退職に伴う変更(25)
	食品科学特論II	1・2・3・4前			2						兼~~10~~ 9	オムニバス 教授1名退職に伴う変更(25)
	栄養科学特論II	1・2・3・4前			2						兼9	オムニバス
	人類遺伝学特論II	1・2・3・4前			1						兼1	
	遺伝学特論	1・2・3・4前			1	1					兼3	
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1・2・3・4~~前~~ 後			1						兼1	届出時の誤記(24)
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：アカデミック・ライティング	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3・4前			2						兼1	
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：学生主導型ディスカッションII	1・2・3・4~~前~~ 後			1						兼1	届出時の誤記(24)

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成24年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 0	科目 13	科目 19	科目 6 [0]	科目 0 [0]	科目 13 [0]	科目 19 [0]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府薬科学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
必修科目	薬科学特論	1～2通	4									
	講座特別演習	1～2通	6			22 ~~20~~ ~~19~~	16 ~~18~~	18 ~~17~~ ~~18~~	21 ~~22~~ ~~21~~			昇任、採用、退職に伴う変更(24) 昇任、採用、退職に伴う変更(25)
	薬科学特別実験	1～2通	10									
	薬科学特別演習	1～2通	2									
選択科目	生化学特論	1・2前		1		1	~~1~~ 0	1	~~2~~ 1			昇任、退職に伴う変更(25)
	衛生分子毒性学特論	1・2前		1		1	2	1				
	薬理学特論	1・2前		1		1	1	1	1			
	医薬生命化学特論	1・2前		1		~~1~~ 2	~~1~~ ~~0~~ 1	~~1~~ 0	1			昇任に伴う変更(24) 昇任に伴う変更(25)
	薬品分析学特論	1・2前		1		1	1	1	1			
	医薬品製造化学特論	1・2前		1		1	~~1~~ 0		1			担当教員の学府内異動に伴う変更(25)
	生薬学特論	1・2前		1		1	1	1	1			
	薬物動態学特論	1・2前		1		1	1		~~2~~ 1			助教1名退職に伴う変更(25)
	創剤工学特論	1・2前		1		1	1		1			
	分子病態学特論	1・2前		1		1	1		1			
	生体情報分子解析学特論	1・2前		1		1	1		2			
	薬物治療学特論	1・2前		1		3 4	~~2~~ 3 2	5 4	2			昇任に伴う変更(24) 昇任に伴う変更(25)
	創薬育薬基礎特論	1・2前		1		1		1				
	創薬育薬応用特論	1・2後前		1		1		1				届出時の誤記(24)
	薬化学特論	1・2前		1		1		~~2~~ 1	~~1~~ 2			講師1名退職に伴う変更(24) 助教1名採用に伴う変更(25)
	薬品物理化学特論	1・2前		1		1	1	1	~~1~~ 0			担当教員の変更(24) 教授1名採用に伴う変更(25)
	医薬品創製化学特論	1・2前		1		1		1	1			
	薬品資源学特論	~~1・2前~~ 未開講		~~1~~				1				今年度休講、次年度以降開講予定(24)
	生物薬品化学特論	1・2前		1			1	1	1			
	免疫微生物学特論	1・2前		1		1	1	1	1			
	創薬探索学特論	1・2前		1		1	1	~~1~~ ~~0~~ 1	1			講師1名退職に伴う変更(24) 講師1名採用に伴う変更(25)
	知的財産管理入門	1・2前		1							兼3 兼2	担当教員（非常勤講師）の変更(24)

（注）・届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にして下さい。
・「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 22	科目 0	科目 26	科目 4 [0]	科目 21 [△1]	科目 0 [0]	科目 25 [△1]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	薬品資源学特論	1	1・2前	専門	選択	平成24年3月に薬品資源学分野の教授が退官した後、後任の採用計画が未定のため。 なお、後任が決定次第、開講する予定。
2						
3						

（注）・　届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・薬品資源学分野の教授の後任が決定次第開講する予定であること、また、当該科目は選択科目であり、未開講であっても、他の選択科目21科目（21単位）中8科目（8単位）以上を修得すれば修了の要件を満たすことができるため、履修への特段の支障はない。
・履修要領、大学及び薬学部・学府のホームページに未開講の旨を掲載するとともに、各研究室の担当教員から所属学生に説明することで、周知を図っている。

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} \quad \frac{1}{26} = 0.03$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府薬科学専攻（博士後期課程）＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
必修科目	先端薬科学特別演習・実験	1〜3通	6			~~7~~ ~~8~~ 9	~~10~~ ~~9~~ 8	~~9~~ ~~8~~ 9	~~9~~ 10		兼~~40~~ 38	演習 昇任、採用、退職に伴う変更(24) 昇任、採用、退職に伴う変更(25)
選択科目												
自由選択科目	健康長寿科学特論	1・2・3前			1						兼~~13~~ 12	オムニバス 准教授1名退職に伴う変更(25)
	食品科学特論II	1・2・3前			2						兼~~10~~ 9	オムニバス 教授1名退職に伴う変更(25)
	栄養科学特論II	1・2・3前			2						兼9	オムニバス
	人類遺伝学特論II	1・2・3前			1						兼1	
	遺伝学特論	1・2・3前			1						兼4	
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1・2・3前			1			1			兼~~1~~	担当教員が特任准教授から講師として採用されたことに伴い兼担から専任に変更(24)
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1・2・3~~前~~後			1			1			兼~~1~~	配当年次：届出時の誤記(24)
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1・2・3前			1			1			兼~~1~~	
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3前			1			1			兼~~1~~	
	科学英語：アカデミック・ライティング	1・2・3前			1			1			兼~~1~~	
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前			2						兼1	
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1・2・3前			1			1			兼~~1~~	同上(24)
	科学英語：学生主導型ディスカッションII	1・2・3~~前~~後			1			1			兼~~1~~	配当年次：届出時の誤記(24)

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２３年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 0	科目 13	科目 14	科目 1 [0]	科目 0 [0]	科目 13 [0]	科目 14 [0]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府生命　食品栄養科学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼	備考
必修科目	食品科学特論	1・2前	2			6	~~4~~ 5				兼2	オムニバス　指導体制の充実を図るため(25)
	栄養科学特論	1・2後	2			4	~~4~~ 5	~~1~~ 2				オムニバス　指導体制の充実を図るため(25)
	食品栄養科学コロキウムⅠ	1～2通	1			10	~~8~~ 9	~~1~~ 2	~~17~~ 18			オムニバス　指導体制の充実を図るため。平成25年4月[illegible]採用(25)
	食品栄養科学特別実験	1～2通	10			10	~~8~~ 9	~~1~~ 2	~~17~~ 18			オムニバス　指導体制の充実を図るため。平成25年4月[illegible]採用(25)
	食品栄養科学特別演習Ⅰ	1～2通	2			10	~~8~~ 9	~~1~~ 2	~~17~~ 18			オムニバス　指導体制の充実を図るため。平成25年4月[illegible]採用(25)
	食品栄養科学専攻セミナー	1～2通	1			10	~~8~~ 9	~~1~~ 2	~~17~~ 18			オムニバス　指導体制の充実を図るため。平成25年4月[illegible]採用(25)
選択科目	食品分子工学特論	~~1・2後~~ 未開講		1		~~1~~ 0						平成25年3月担当教員退職のため休講。後任が決定次第開講予定(25)
	食品分析化学特論	1・2後		1		1						
	ケミカルバイオロジー特論	1・2前		1			1					
	食品化学特論	1・2後		1		1						
	食品衛生学特論	1・2後		1			1					
	有機化学特論	1・2後		1		1						
	生物分子工学特論	1・2後		1			1					
	植物機能開発特論	1・2前		1		1						
	人類遺伝学特論	1・2後		1			1					
	生化学特論	1・2前		1		1						
	栄養生理学特論	1・2後		1		1						
	微生物学特論	1・2前		1		1						
	臨床栄養学特論	1・2後		1		1						
	栄養教育学特論	1・2前		1			1					
	公衆衛生学特論	1・2前		1			1					
	精神衛生学特論	1・2前		1							兼1	
	フードマネジメント特論	1・2前		1			1					
	臨床栄養管理学特論	1・2前		1			1					
	調理科学特論	1・2前		1		1						
	公衆栄養学特論	1・2前		1				1				
	遺伝学特論	1・2前		1		~~1~~ 2	~~1~~ 0				兼2	平成25年4月小林公子准教授，教授昇格(25)
	食品蛋白質工学特論	1・2後		1			1					教育課程充実を図るため，科目を追加(24) 担当　伊藤創平(准教授)
	栄養化学特論	1・2前		1			1					教育課程充実を図るため，科目を追加(24) 担当　三浦進司(准教授)
	生理学特論	1・2後		1				1				教育課程充実を図るため，科目を追加(24) 担当　林久由（講師）
	食品栄養科学コロキウムⅡ	1～2通		1		10	~~8~~ 9	~~1~~ 2	~~17~~ 18			オムニバス　指導体制の充実を図るため。平成25年4月[illegible]採用(25)
	特別インターンシップⅠ	1・2通		1		1						
	特別インターンシップⅡ	1・2通		1		1						
	健康長寿科学特論Ⅰ	1・2前		1							兼13	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	健康長寿科学特論Ⅱ	1・2後		1							兼13	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	フロンティア科学特論Ⅰ	1・2前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(24) 担当　三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。担当教員は8月に決定。
	フロンティア科学特論Ⅱ	1・2後		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(24) 担当　三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。担当教員は11月に決定。
	インターンシップ	1・2前		1		10	~~8~~ 9	~~1~~ 2	~~17~~ 18			オムニバス　指導体制の充実を図るため。平成25年4月[illegible]採用(25)
	知的財産管理入門	1・2前		1							兼2	

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 28	科目 0	科目 34	科目 6 [0]	科目 33 [5]	科目 [0]	科目 39 [5]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	食品分子工学特論	1	1･2後	専門	選択	平成25年3月に食品プロセス工学分野の教授が退職した後、後任の採用計画が未定のため。なお、後任が決定次第、開講する予定
2						
3						

（注）・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・食品プロセス工学分野の教授の後任が決定次第開講する予定であること、また、当該科目は選択科目であり、未開講であっても他の選択科目32科目（32単位）中12科目（12単位）以上を修得すれば修了の要件を満たすことができるため、履修への特段の支障はない。
・履修要項、大学及び学府のホームページに未開講の旨を掲載するとともに、各研究室の担当教員から所属学生に説明することで周知を図っている。

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} \quad \frac{1}{39} = 0.03$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府　食品栄養科学専攻（博士後期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
選択	科学英語：ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	1・2・3前		1							兼1	
	科学英語：ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	1・2・3後		1							兼1	
	科学英語：ｲﾝﾃﾞﾍﾟﾝﾃﾞﾝﾄ・ﾘｽﾆﾝｸﾞ	1・2・3前		1							兼1	
	科学英語：ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	1・2・3前		1							兼1	
	科学英語：ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	1・2・3前		1							兼1	
	科学英語：学生主導型ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ	1・2・3前		1							兼1	
	科学英語：学生主導型ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ	1・2・3後		1							兼1	
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前		~~1~~ 2							兼1	教育課程の充実を図るため、単位数を増加(25)
	健康長寿科学特論Ⅰ	1・2・3前		1							兼13	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	健康長寿科学特論Ⅱ	1・2・3後		1							兼13	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	フロンティア科学特論Ⅰ	1・2・3前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(24) 担当　三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。担当教員は9月に決定。
	フロンティア科学特論Ⅱ	1・2・3後		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(24) 担当　三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。担当教員は12月に決定。
必修	食品栄養科学特別演習Ⅱ	1～3通	4			~~6~~ 5	9	2	~~17~~ ~~15~~ 18		兼5	佐藤努助教、望月和樹助教の退職のため教員を追加(25) 担当　三浦進司（准教授）林久由（講師）平成25年3月担当教員（教授）の退職、指導体制の充実を図るため助教の採用(25)
選択	食品栄養科学特別演習Ⅲ	1～3通		~~1~~ 2		~~6~~ 5	9	2	~~17~~ ~~15~~ 18		兼5	佐藤努助教、望月和樹助教の退職のため教員を追加(25) 担当　三浦進司（准教授）林久由（講師）平成25年3月担当教員（教授）の退職、指導体制の充実を図るため助教の採用(25)
	臨床栄養エキスパート演習	1～3通		~~1~~ 2							兼1	教育課程の充実を図るため、単位数を増加(24)
	薬剤学特論	1・2・3前		~~1~~ 2							~~兼6~~ 兼5	教育課程の充実を図るため、単位数を増加(24) 平成24年8月担当教員1名の退職(25)
	遺伝学特論	1・2・3前		1							兼4	

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- 兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
- 「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 14	科目 0	科目 15	科目 1 [0]	科目 16 [2]	科目 [0]	科目 17 [2]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

―

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府　環境物質科学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手		備考
必修	地域・地球環境学特論	1・2前	2			2 1	3					担当教授の授業科目変更(25)
	環境生命科学特論	1・2前	2			2 3	2 1					担当教授及び准教授の授業科目変更(25)
	環境共生学特論	1・2後 前	2			4 4 2					兼1	講義科目集約化のため前期に移動。完成年度以前に退職予定の教授2名及び教授１名の3名を追加(24) 担当　若林敬二(教授)、坂口英人(教授)、国包章一（教授） 担当教員2名坂口英人(教授)、国包章一（教授）の退職。坂口英人特任教授が担当(25)
	環境科学コロキウム	1・2前	1			6 8 5	5		13 11 12			完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。助教2名が退職。(24) 担当　坂口英人（教授）、国包章一（教授） 担当教授3名の退職。坂口英人（教授）、国包章一（教授）岩堀恵祐（教授）。助教1名の採用 保田倫子（助教）(25)
	環境科学専攻セミナー	1・2前	1			6 8 5	5		13 11 12			完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。助教2名が退職。(24) 担当　坂口英人（教授）、国包章一（教授） 担当教授3名の退職。坂口英人（教授）、国包章一（教授）岩堀恵祐（教授）。助教1名の採用 保田倫子（助教）(25)
	環境科学特別実験	1・2後	8			6 8 5	5		13 11 12			完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。助教2名が退職。(24) 担当　坂口英人（教授）、国包章一（教授） 担当教授3名の退職。坂口英人（教授）、国包章一（教授）岩堀恵祐（教授）。助教1名の採用 保田倫子（助教）(25)
	フィールドワーク演習	1・2後	2			6 8 5	5		13 11 12			完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。助教2名が退職。(24) 担当　坂口英人（教授）、国包章一（教授） 担当教授3名の退職。坂口英人（教授）、国包章一（教授）岩堀恵祐（教授）。助教1名の採用 保田倫子（助教）(25)
	環境化学総論	1・2前		1			1		1 0			助教1名が退職(24)
	環境生物学総論	1・2前		1		1	1		2			
	環境分析・評価特論Ⅰ	1・2後		1			1		4			
	環境分析・評価特論Ⅱ	1・2後		1			1		3 1			助教2名が退職(24)
	環境リスクアセスメント特論	1・2前		1			1		1			
	環境トキシコロジー特論	1・2前		1		1	1					
	環境情報科学特論	1・2後		1					1			
	生活環境保健特論	1・2前 未開講		1		1 0			1 1 0			完成年度以前に退職予定の教授1名を追加(24) 担当　国包章一（教授） 平成25年3月担当教員(教授）の退職のため休講。後任が決定次第開講予定(25)
	資源・エネルギー特論	1・2後 前		1		1 0			2 1		兼1	講義科目集約化のため前期に移動。完成年度以前に退職予定の教授1名を追加。助教1名が退職。(24) 担当　坂口英人（教授） 平成25年3月担当教員坂口英人(教授）の退職。平成25年4月から坂口英人特任教授が担当(25)

選択	環境保全学特論	1・2後		1		1			1			
	環境マネジメント特論	1・2前		1							兼1	
	大気環境特論	1・2後		1			1					
	水質・土壌環境特論	1・2後		1		1						
	物性化学特論	1・2前		1			1					
	植物環境特論	1・2前		1			1					
	生態化学特論	1・2後		1		1						
	環境微生物学特論	1・2後		1			1					
	光環境生命科学特論	1・2前		1			1					
	生体システム生理学特論	1・2後		1		1						
	環境健康科学特論	1・2前		1		1						
	環境材料学特論	1・2前 未開講		1							兼1 0	平成25年3月担当教員の退職のため休講。後任が決定次第開講予定。(25)
	環境工学特論	1・2前 未開講		1		1 0						平成25年3月担当教員の退職のため休講。後任が決定次第開講予定。(25)
	遺伝学特論	1・2後		1							兼1	
	化学環境特論	1・2前		1		1						教育課程の充実を図るため、科目を追加(24) 担当　若林敬二（教授）
	環境高分子化学特論	1・2前		1		1 0					兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加，完成年度以前に退職予定の教授が担当。(24) 担当　坂口眞人（教授） 担当教員坂口眞人（教授）の退職，平成25年4月から坂口眞人特任教授が担当(25)
	環境政策特論	1・2前		1		1						教育課程の充実を図るため科目を追加，完成年度以前に退職予定の教授が担当。(24) 担当　国包章一（教授） 担当教員国包章一（教授）の退職，平成25年4月から坂田昌弘教授が担当(25)
	健康長寿科学特論Ⅰ	1・2前		2							兼13	オムニバス
	健康長寿科学特論Ⅱ	1・2後		2							兼13	オムニバス
	フロンティア科学特論Ⅰ	1・2前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(24)三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。教員は8月決定(24)
	フロンティア科学特論Ⅱ	1・2後		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(24)三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。教員は11月決定(24)
	インターンシップ	1・2後		2		6 8 5	5		13 14 12			完成年度以前に退職予定の教授2名を追加，助教2名が退職。(24) 担当　坂口眞人（教授）、国包章一（教授） 担当教授3名の退職坂口眞人（教授）、国包章一（教授）岩堀恵祐（教授）、助教1名の採用保田倫子（助教）(25)
	知的財産管理入門	1・2前		2							兼1	

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 27	科目 0	科目 34	科目 7 [0]	科目 32 [5]	科目 [0]	科目 39 [5]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	生活環境管理特論	1	1・2前	専門	選択	平成25年3月に環境政策分野の教授が退職した後、後任の採用計画が未定のため。なお、後任が決定次第、開講する予定。
2	環境工学特論	1	1・2前	専門	選択	平成25年3月に環境工学分野の教授が退職した後、後任の採用計画が未定のため。なお、後任が決定次第、開講する予定。
3	環境材料学特論	1	1・2前	専門	選択	平成25年3月に環境材料学分野の非常勤講師が退職した後、後任の採用計画が未定のため。なお、後任が決定次第、開講する予定。

（注）・　届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・環境工学分野、環境政策分野の教授の後任及び環境材料学分野の非常勤講師が決定次第、開講する予定であること、また、当該３科目は選択科目であり、未開講であっても他の選択科目29科目（29単位）中12科目（12単位）以上を修得すれば修了の要件を満たすことができるため、履修への特段の支障はない。
・履修要項、大学及び学府のホームページに未開講の旨を掲載するとともに、各研究室の担当教員から所属学生に説明することで周知を図っている。

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} \quad \frac{3}{39} = 0.08$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府　環境科学専攻（博士後期課程）＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
選択	科学英語：ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	1・2・3前		1							兼1
	科学英語：ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	1・2・3後		1							兼1
	科学英語：ｲﾝﾃﾞﾍﾟﾝﾃﾞﾝﾄ・ﾘｽﾆﾝｸﾞ	1・2・3前		1							兼1
	科学英語：ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	1・2・3~~前~~ 前・後		1							兼1 前期だけでなく、前期及び後期のいずれでも履修できるよう充実(24)
	科学英語：ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	1・2・3~~前~~ 前・後		1							兼1 前期だけでなく、前期及び後期のいずれでも履修できるよう充実(24)
	科学英語：学生主導型ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ	1・2・3前		1							兼1
	科学英語：学生主導型ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ	1・2・3後		1							兼1
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3~~前~~ 通		~~1~~ 2							兼1 内容の充実・強化のため、前期から通年に変えて単位数を1単位から2単位に変更(24)
	健康長寿科学特論Ⅰ	1・2・3前		1							兼13
	健康長寿科学特論Ⅱ	1・2・3後		1							兼13
	フロンティア科学特論Ⅲ	1・2・3前		1							教育課程の充実を図るため科目を追加(24)三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。担当教員は8月に決定
	フロンティア科学特論Ⅳ	1・2・3後		1							教育課程の充実を図るため科目を追加(24)三大学（当大学、静岡大学、東海大学）連携授業。担当教員は11月に決定
必修	環境科学特別演習Ⅱ	1～3通	4			6 8 5	5		~~13~~ ~~11~~ 12		専攻名の変更（「環境物質科学専攻」→「環境科学専攻」）に合わせて科目名を変更。完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。平成24年3月助教2名が退職。(24) 担当　坂口眞人（教授）、国包章一（教授）平成25年3月担当教授坂口眞人教授、国包章一教授、岩堀恵祐教授退職。平成25年4月保田倫子助教採用。(25)
選択	環境科学特別演習Ⅲ	1～3通		~~1~~ 2		6 8 5	5		~~13~~ ~~11~~ 12		専攻名の変更（「環境物質科学専攻」→「環境科学専攻」）に合わせて科目名を変更。完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。平成24年3月助教2名が退職。(24) 担当　坂口眞人（教授）、国包章一（教授）平成25年3月坂口眞人教授、国包章一教授、岩堀恵祐教授退職。平成25年4月保田倫子助教採用。(25)
	遺伝学特論	1・2・3前		1		2					兼2

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。

・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。

・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）

・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。

・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	12	0	13	1	14	0	15	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

―

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2　授業科目の概要

＜薬食生命科学総合学府薬食生命科学専攻（博士後期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
必修科目	薬食生命科学特別実験	1～3通	6			~~8~~ 9	~~5~~ 4	3	~~7~~ 5		昇任、退職に伴う変更(25)
	健康長寿科学特論	1・2・3前	1			~~8~~ 9	~~5~~ 3				オムニバス 昇任、退職に伴う変更(25)
選択科目	薬剤学特論	1・2・3前		2			1		~~2~~ 1		兼3 退職に伴う変更(25)
	食品科学特論II	1・2・3前		2		~~2~~ 3	~~1~~ 0				~~兼7~~ 6 オムニバス 昇任、退職に伴う変更(25)
	栄養科学特論II	1・2・3前		2		2					兼7 オムニバス
	人類遺伝学特論II	1・2・3前		1		1	~~1~~ 0				昇任に伴う変更(25)
	遺伝学特論	1・2・3前		1		~~1~~ 2	~~1~~ 0				兼2 昇任に伴う変更(25)
	高齢者疾患予防学演習	1～3通		2		4	1	1	~~3~~ 2		兼1 昇任、退職に伴う変更(25)
	薬食機能開発演習	1～3通		2		3	2	2	2		
	臨床栄養薬物学演習	1～3通		2		~~1~~ 2	~~2~~ 1		~~2~~ 1		兼4 昇任、退職に伴う変更(25)
自由選択科目	臨床栄養エキスパート演習	1・2・3前			2	1					
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1・2・3前後			1						兼1 届出時の誤記(24)
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：アカデミック・ライティング	1・2・3前			1						兼1
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前			2						兼1
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：学生主導型ディスカッションII	1・2・3前後			1						兼1 届出時の誤記(24)

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２３年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，記入してください。

（2） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 8	科目 9	科目 19	科目 2 [0]	科目 8 [0]	科目 9 [0]	科目 19 [0]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

施設・設備の整備状況、経費

3　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
	校舎敷地	176,772.82㎡	㎡	㎡	176,772.82㎡	
	運動場用地	6,576.27㎡	㎡	㎡	6,576.82㎡	
	小計	183,459.09㎡	㎡	㎡	183,459.09㎡	
	その他	3,329.08㎡	㎡	㎡	3,329.08㎡	
	合計	186,678.17㎡	㎡	㎡	186,678.17㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
		68,194.26㎡ (68,194.26㎡)	㎡ (　㎡)	㎡ (　㎡)	68,194.26㎡ (68,194.26㎡)	

区分	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
(3) 教室等	49室	17室	47室	10室 (補助職員一人)	3室 (補助職員　2人)	大学全体

区分	新設学部等の名称	室数	備考
(4) 専任教員研究室	薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻　博士前期課程	24　室	届出研究科全体

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	薬食生命科学総合学府	53,306〔7,876〕 (48,301〔7,639〕)	788〔172〕 (788〔172〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	995 (656)	— (—)	— (—)	
	計	53,306〔7,876〕 (48,301〔7,639〕)	788〔172〕 (788〔172〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	995 (656)	— (—)	— (—)	

区分	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
(6) 図書館	5,996.21㎡	486席	約500,000冊	大学全体

区分	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
(7) 体育館	4649.07㎡	テニスコート8面　5808㎡		大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要								備考
経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出研究科全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
	教員1人当り研究費等	470千円	465千円	図書購入費	6,040千円	6,040千円	6,040千円	
	共同研究費等	40,000千円	40,000千円	設備購入費	1,400千円	1,400千円	1,400千円	

学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	902千円	536千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要						

（注）・　届出時の計画を，届出書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれているいる場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，黒字で記入してください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

既設大学等の状況

４　既設大学等の状況

大学の名称	静岡県立大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
薬学部						1.11			
薬学科	6	80	—	480	学士（薬学）	1.11	平成18年度	静岡県静岡市 駿河区谷田５ ２－１	
薬科学科	4	40	—	160	学士（薬学）	1.11	平成18年度		
食品栄養科学部						1.18			
食品生命科学科	4	25	—	100	学士（食品栄養科学）	1.24	昭和62年度		
栄養生命科学科	4	25	—	100	学士（食品栄養科学）	1.12	昭和62年度		
国際関係学部						1.13			
国際関係学科	4	60	—	240	学士（国際関係学）	1.07	昭和62年度		
国際言語文化学科	4	120	—	480	学士（国際言語文化学）	1.16	昭和62年度		
経営情報学部									
経営情報学科	4	100	—	400	学士（経営情報学）	1.07	昭和62年度		
看護学部									
看護学科	4	55	3年次 10人	240	学士（看護学）	1.0	平成９年度		
（修士課程）									
薬学研究科									平成23年より
薬科学専攻	2	—	—	—	修士（薬科学）	—	平成18年度		学生募集停止
生活健康科学研究科									
食品栄養科学専攻	2	—	—	—	修士（食品栄養科学）	—	平成３年度		平成23年より
環境物質科学専攻	2	—	—	—	修士（環境科学）	—	平成３年度		学生募集停止
薬食生命科学総合学府									
薬科学専攻	2	30	—	60	修士（薬科学）	1.23	平成24年度		
食品栄養科学専攻	2	25	—	50	修士（食品栄養科学）	1.32	平成24年度		
環境科学専攻	2	20	—	40	修士（環境科学）	0.8	平成24年度		
国際関係学研究科									
国際関係学専攻	2	5	—	10	修士（国際関係）	1.2	平成３年度		
比較文化専攻	2	5	—	10	修士（比較文化）	2	平成３年度		
経営情報学研究科									平成23年より
経営情報学専攻	2	—	—	—	修士（経営情報学）	—	平成10年度		学生募集停止
経営情報イノベーション研究科									
経営情報イノベーション専攻	2	10	—	20	修士（経営情報学）	1.9	平成23年度		
看護学研究科									
看護学専攻	2	16	—	32	修士（看護学）	0.5	平成13年度		
（博士後期課程）									博士後期課程の薬学専攻、製薬学専攻、医療薬学専攻については、平成23年から学生募集停止
薬学研究科									
薬学専攻	3	—	—	—	博士（薬学）		昭和63年度		
製薬学専攻	3	—	—	—	博士（薬学）		昭和63年度		
医療薬学専攻	3	—	—	—	博士（医療薬学）		平成14年度		
生活研究科学研究科									
食品栄養科学専攻	3	—	—	—	博士（食品栄養科学）		平成7年度		平成23年より
環境物質科学専攻	3	—	—	—	博士（環境科学）		平成7年度		学生募集停止
薬食生命科学総合学府									
薬学専攻	4	8	—	32	博士（薬学）	0.63	平成24年度		
薬科学専攻	3	8	—	24	博士（薬科学）	1.5	平成24年度		
薬食生命科学専攻	3	5	—	15	博士（薬食生命科学） 博士（生命薬科学）	1.2	平成24年度		
食品栄養科学専攻	3	10	—	30	博士（食品栄養科学）	0.6	平成24年度		
環境科学専攻	3	7	—	21	博士（環境科学）	0.43	平成24年度		
経営情報イノベーション研究科									
経営情報イノベーション専攻	3	3	—	9	博士（経営情報学） 博士（学術）	1.5	平成23年度		

大学の名称	静岡県立大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	3	80	—	240	短期大学士（看護学）	1.03	平成9年度	静岡県静岡市駿河区小鹿二丁目2番１号	
歯科衛生学科	3	40	—	120	短期大学士（歯科衛生学）	1.07	平成9年度		
社会福祉学科									
（社会福祉専攻）	2	50	—	100	短期大学士（社会福祉学）	1.22	平成9年度		
（介護福祉専攻）	2	50	—	100	短期大学士（社会福祉学）	0.79	平成9年度		

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科）大学院（専攻）及び短期大学（学科）について，それぞれの学校種ごとに，平成２５年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，ＡＣ対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・　「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。

・　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成○年より学生募集停止」と記入してください。

教員組織の状況

5　教員組織の状況

<薬食生命科学総合学府　薬学専攻　（博士課程）医療薬学コース>

（1）　担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	森本　達也 （45）	平成24年4月	先端医療薬学特論 薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	教授	菅谷　純子 （61）	平成24年4月	先端医療薬学特論 薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	教授	並木　徳之 （56）	平成24年4月	先端医療薬学特論 薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	准教授	五十里　彰 （40）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	准教授	上村　和秀 （41）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	講師	石井　康子 （58）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
専任	講師	内田　信也 （43）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	専任	准教授	内田　信也 （43）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成23年10月昇任 （24）
専任	講師	加藤　安宏 （40）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
専任	助教	刀坂　泰史 （31）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
専任	助教	山崎　泰広 （39）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
専任	助教	平川　城太朗 （28）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験	専任	助教	山口　賢彦 （２７）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験	平成23年12月平川助教退職 平成24年4月後任として山口助教採用（24）
専任	助教	田中　紫茉子 （27）	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
兼担	教授	鈴木　隆 （56）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 糖鎖生化学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	石川　智久 （51）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 分子薬理学特論						
兼担	教授	奥　直人 （59）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物送達学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	豊岡　利正 （60）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 病態分子分析学特論						
兼担	教授	菅　敏幸 （48）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	野口　博司 （61）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 生薬漢方薬学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	板井　茂 （59）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物放出制御学特論						
兼担	教授	賀川　義之 （52）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼担	教授	伊藤　邦彦 （51）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 遺伝学特論						
兼担	教授	山田　浩 （55）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼担	教授	眞鍋　敬 （46）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼担	教授	赤井　周司 （52）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	兼担	教授	濱島　義隆 （37）	平成25年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成25年3月赤井周司教授退職 学府内別研究室の濱島准教授が平成25年4月後任として就任（25）
兼担	教授	今井　康之 （57）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 免疫微生物学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	浅井　章良 （48）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 創薬探索学特論						
					兼担	教授	橋本　博 （41）	平成25年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成24年3月に定年退職した教授の後任として平成25年4月採用（25）
兼担	教授	中山　勉 （57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※			後任未定			平成25年3月中山勉教授退職（25）
兼担	教授	熊澤　茂則 （49）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	大橋　典男 （53）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	渡辺　達夫 （55）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	丹治　健一 （57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	小林　裕和 （57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論						
兼担	教授	合田　敏尚 （56）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	熊谷　裕通 （57）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	大島　寛史 （62）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	新井　映子 （56）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	吉村　紀子 （63）	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	左　一八 （49）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 糖鎖生化学特論 健康長寿科学特論※			後任未定			平成25年3月左一八准教授退職（25）
兼担	准教授	高木　邦明 （55）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物代謝・毒性学特論						
兼担	准教授	根本　清光 （53）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物代謝・毒性学特論						
兼担	准教授	斎藤　真也 （46）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 分子薬理学特論						
兼担	准教授	武田　厚司 （56）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物送達学特論	兼担	教授	武田　厚司 （56）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物送達学特論	平成24年4月昇任 （25） ※24年度報告漏れ
兼担	准教授	轟木　堅一郎 （38）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 病態分子分析学特論						
兼担	准教授	濱島　義隆 （37）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習			後任未定			平成25年4月学府内別研究室の教授に就任 （25）
兼担	准教授	渡辺　賢二 （42）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 生薬漢方薬学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	准教授	尾上　誠良 （38）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物動態学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	准教授	野口　修治 （45）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物放出制御学特論						
兼担	准教授	宮嵜　靖則 （48）	平成24年4月	医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼担	准教授	石川　吉伸 （44）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼担	准教授	海野　けい子 （58）	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 神経内分泌機能解析学特論						
兼担	准教授	川島　博人 （46）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 免疫微生物学特論 健康長寿科学特論※						
兼担	准教授	澤田　潤一 （42）	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 創薬探索学特論						
兼担	准教授	増田　修一 （43）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	鮒　信学 （36）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	河原崎　泰昌 （42）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	小林　公子 （51）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論	兼担	教授	小林　公子 （51）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	届出時記載漏れ（24） 平成25年4月1日 教授に昇任（25）
兼担	准教授	桑野　稔子 （49）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	市川　陽子 （46）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	新井　英一（40）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	栗木　清典（41）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	特任教授	飯田　滋（68）	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	特任准教授	ホーク　フィリップ（44）	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	兼担	講師	ホーク　フィリップ（44）	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	平成24年4月 特任准教授から講師として採用(24)
兼担	講師	関本　征史（40）	平成24年4月	薬物代謝・毒性学特論						
兼担	講師	小原　一男（61）	平成24年4月	分子薬理学特論						
兼担	講師	浅井　知浩（37）	平成24年4月	薬物送達学特論	兼担	准教授	浅井　知浩（37）	平成24年4月	薬物送達学特論	平成25年4月昇任（25）
兼担	講師	梅原　薫（50）	平成24年4月	生薬漢方薬学特論						
兼担	講師	井上　和幸（39）	平成24年4月	医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼担	講師	井口　和明（55）	平成24年4月	神経内分泌機能解析学特論						
兼担	講師	三宅　正紀（45）	平成24年4月	免疫微生物学特論						
兼担	講師	松野　研司（44）	平成24年4月	創薬探索学特論	兼担	講師	~~後任未定~~ 小郷　尚久（39）	平成24年11月	創薬探索学特論	平成24年3月松野研司講師退職(24) 平成24年11月後任として小郷尚久講師採用(25)
兼担	講師	円谷　由子（39）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	講師	横山　英志（36）	平成24年4月	病態分子分析学特論						
兼担	助教	高橋　忠伸（35）	平成24年4月	糖鎖生化学特論	兼担	講師	高橋　忠伸（35）	平成24年4月	糖鎖生化学特論	平成25年4月昇任（25）
兼担	助教	南　彰（35）	平成24年4月	糖鎖生化学特論						
兼担	助教	金子　雪子（35）	平成24年4月	分子薬理学特論						
兼担	助教	清水　広介（33）	平成24年4月	薬物送達学特論						
兼担	助教	閔　俊哲（36）	平成24年4月	病態分子分析学特論						
兼担	助教	鰐渕　清史（28）	平成24年4月	生薬漢方薬学特論						
兼担	助教	伊藤　由彦（35）	平成24年4月	薬物動態学特論						
兼担	助教	灘　優子（31）	平成24年4月	薬物動態学特論			後任未定			平成24年8月灘優子助教退職(25)
兼担	助教	岩尾　康範（33）	平成24年4月	薬物放出制御学特論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	助教	山本　博之（33）	平成24年4月	神経内分泌機能解析学特論						
兼担	助教	黒羽子　孝太（38）	平成24年4月	免疫微生物学特論						
兼担	助教	海野　雄加（34）	平成24年4月	創薬探索学特論						

（注）・　設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科　〇〇専攻（〇〇課程））の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２）　専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
12 （12）	0 (0)	12 （12）	12 [－]	0 [－]	12 [－]	65歳	0名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

（3） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	平川　城太朗	一身上の都合
2			
3			

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においては民間企業へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は平成24年4月に採用しており、履修への支障はない。
また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等に掲載し周知を図っている。

（注）・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　薬学専攻　（博士課程）　臨床薬学コース＞

（1）　担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	賀川　義之（52）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	教授	伊藤　邦彦（51）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習 遺伝学特論						
専任	教授	山田　浩（55）	平成24年4月	先端臨床薬学特論２ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	准教授	宮嵜　靖則（48）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	講師	内野　智信（38）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
専任	講師	林　秀樹（39）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
専任	講師	井上　和幸（39）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	講師	小菅　和仁（46）	平成24年4月	先端臨床薬学特論２ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
専任	助教	辻　大樹（37）	平成24年4月	先端臨床薬学特論１ 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
専任	助教	谷澤　康玄（48）	平成24年4月	臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
兼担	教授	呉　直人（59）	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼担	教授	野口　博司（61）	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼担	教授	森本　達也（45）	平成24年4月	臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
兼担	教授	菅谷　純子（61）	平成24年4月	臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
兼担	教授	並木　徳之（56）	平成24年4月	臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
兼担	教授	今井　康之（57）	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼担	教授	中山　勉（57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※			後任未定			平成25年3月中山勉教授退職(25)
兼担	教授	熊澤　茂則（49）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	大橋　典男（53）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	渡辺　達夫 (55)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	丹治　健一 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	小林　裕和 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論						
兼担	特任教授	飯田　滋 (68)	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	教授	合田　敏尚 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	熊谷　裕通 (57)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	大島　寛史 (62)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	新井　映子 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	吉村　紀子 (63)	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム						
					兼担	教授	鈴木　陸 (56)	平成24年4月	健康長寿科学特論※	届出時記載漏れ(24)
兼担	准教授	左　一八 (49)	平成24年4月	健康長寿科学特論※			後任未定			平成25年3月左一八准教授退職(25)
兼担	准教授	渡辺　賢二 (42)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼担	准教授	尾上　誠良 (38)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼担	准教授	五十里　彰 (40)	平成24年4月	臨床薬学特別実験						
兼担	准教授	川島　博人 (46)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼担	准教授	増田　修一 (43)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	鮒　信学 (36)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	河原崎　泰昌 (42)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	小林　公子 (51)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論	兼担	教授	小林　公子 (51)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	届出時記載漏れ(24) 平成25年4月1日教授に昇任(25)
兼担	准教授	桑野　稔子 (49)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	市川　陽子 (46)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	新井　英一 (40)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	栗木　清典 (41)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	特任准教授	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	兼担	講師	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	平成24年4月 特任准教授から講師として採用(24)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	講師	石井　康子（58）	平成24年4月	臨床薬学特別実験						
兼担	講師	内田　信也（43）	平成24年4月	臨床薬学特別実験	兼担	准教授	内田　信也（43）	平成24年4月	臨床薬学特別実験	平成23年10月昇任（24）
兼担	助教	田中　紫茉子（27）	平成24年4月	臨床薬学特別実験						
兼担	講師	加藤　安宏（40）	平成24年4月	臨床薬学特別実験						
兼担	講師	円谷　由子（39）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						

（注）・　設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　　　　なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科　〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
　　・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
　　・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
　　・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
　　・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
　　・　認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
　　・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　　　　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２）　専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
10 （10）	0 (0)	10 （10）	10 [　－　]	0 [　－　]	10 [　－　]	65歳	0名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，
　　　「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
　　・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

—

（3） 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

（注）・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　薬科学専攻　（博士前期課程）＞

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	山田　浩 （55）	平成24年4月	創薬育薬基礎特論 創薬育薬応用特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	森本　達也 （45）	平成24年4月	分子病態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	眞鍋　敬 （46）	平成24年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	野口　博司 （61）	平成24年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	豊岡　利正 （60）	平成24年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	出川　雅邦 （63）	平成24年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	鈴木　隆 （56）	平成24年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	菅谷　純子 （61）	平成24年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	菅　敏幸 （48）	平成24年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	賀川　義之 （52）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	奥　直人 （59）	平成24年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	伊藤　邦彦 （51）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	板井　茂 （59）	平成24年4月	創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	石川　智久 （51）	平成24年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	浅井　章良（48）	平成24年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	赤井　周司（52）	平成24年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	教授	濱島　義隆（37）	平成25年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成25年3月赤井周司教授退職 学府内別研究室の濱島准教授が平成25年4月後任として就任(25)
専任	教授	山田　静雄（63）	平成24年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	今井　康之（57）	平成24年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	教授	並木　徳之（56）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専任	教授	橋本　博（41）	平成25年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成24年3月に定年退職した教授の後任として平成25年4月採用(25)
専任	准教授	渡辺　賢二（42）	平成24年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	宮嵜　靖則（48）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	前田　利男（63）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	教授	前田　利男（63）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成25年4月昇任（25）
専任	准教授	左　一八（49）	平成24年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習			後任未定			平成25年3月左一八准教授退職(25)
専任	准教授	濱島　義隆（37）	平成24年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習			後任未定			平成25年4月学府内別研究室の教授に就任（25）
専任	准教授	野口　修治（45）	平成24年4月	創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	根本　清光（53）	平成24年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	轟木　堅一郎（38）	平成24年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	武田　厚司（56）	平成24年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	教授	武田　厚司（56）	平成24年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成24年4月昇任（24）
専任	准教授	高木　邦明（55）	平成24年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	澤田　潤一（42）	平成24年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	斎藤　真也（46）	平成24年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	川島　博人（46）	平成24年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	尾上　誠良（38）	平成24年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	海野　けい子（58）	平成24年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	上村　和秀（41）	平成24年4月	分子病態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	石川　吉伸（44）	平成24年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	准教授	五十里　彰（40）	平成24年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	関本　征史（40）	平成24年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	三宅　正紀（45）	平成24年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	松野　研司（44）	平成24年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	講師	~~後任未定~~ 小郷　尚久（39）	平成24年11月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成24年3月松野研司講師退職(24) 平成24年11月後任として小郷尚久講師採用(25)
専任	講師	林　秀樹（39）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	鈴木　白美子（44）	平成24年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	助教	~~後任は24年6月採用予定~~ 山口　深雪（32）	平成24年6月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成24年3月 鈴木白美子講師 退職（24） 平成24年6月後任として山口深雪助教採用(25)
専任	講師	小菅　和仁（46）	平成24年4月	創薬育薬基礎特論 創薬育薬応用特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	加藤　安宏（40）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	小原　一男（61）	平成24年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	江木　正浩 （40）	平成24年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	梅原　薫 （50）	平成24年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	内野　智信 （38）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	内田　信也 （43）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	准教授	内田　信也 （43）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年10月昇任 （２４）
専任	講師	岩本　蔵人 （49）	平成24年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	井上　和幸 （39）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	石田　均司 （62）	平成24年4月	薬品資源学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	講師	石田　均司 （62）	平成24年4月	薬品資源学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	薬品資源学特論平成24年5月現在未開講のため担当科目の変更(24)
専任	講師	石井　康子 （58）	平成24年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	井口　和明 （55）	平成24年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	講師	浅井　知浩 （37）	平成24年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	兼担	准教授	浅井　知浩 （37）	平成24年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成25年4月昇任（25）
			平成24年4月		専任	講師	横山　英志 （36）	平成24年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	届出時記載漏れ (24)
			平成24年4月		専任	講師	井之上浩一 （37）	平成24年4月	薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成24年4月指導体制充実のため採用(24)
専任	助教	野渕　清史 （28）	平成24年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	山本　博之 （33）	平成24年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	山崎　泰広 （39）	平成24年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	谷澤　康玄 （48）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	南　彰（35）	平成24年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	閔　俊哲（36）	平成24年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	平川　城太朗（28）	平成24年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	助教	山口　賢彦（２７）	平成24年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年12月 平川助教退職 平成24年4月 後任として山口助教採用(24)
専任	助教	辻　大樹（37）	平成24年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	瀧　優子（31）	平成24年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習			後任未定			平成24年8月瀧優子助教退職(25)
専任	助教	高橋　忠伸（35）	平成24年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	兼担	講師	高橋　忠伸（35）	平成24年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成25年4月昇任（25）
専任	助教	清水　広介（33）	平成24年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	小西　英之（32）	平成24年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	黒羽子　孝太（38）	平成24年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	金子　雪子（35）	平成24年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	刀坂　泰史（31）	平成24年4月	分子病態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	海野　雄加（34）	平成24年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	岩尾　康範（33）	平成24年4月	薬品物理化学特論 創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専任	助教	岩尾　康範（33）	平成24年4月	薬品物理化学特論 創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	担当科目の変更(24)
専任	助教	伊藤　由彦（35）	平成24年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	井川　貴詞（34）	平成24年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専任	助教	浅川　倫宏（32）	平成24年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	田中 紫菜子（27）	平成24年4月	薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専任	助教	稲井 誠（30）	平成24年4月	薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年9月指導体制充実のため採用(24)
兼任	非常勤	岡部 尚（70）	平成24年4月	知的財産管理入門						
兼任	非常勤	新庄 孝（49）	平成24年4月	知的財産管理入門	兼任	非常勤	居藤 洋之（40）	平成24年4月	知的財産管理入門	科目を担当する非常勤講師の変更(24)
兼任	非常勤	山下 晋広（42）	平成24年4月	知的財産管理入門						

（注）・ 設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○研究科　○○専攻（○○課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・ 年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
76 (76)	0 (0)	76 (76)	77 [+1]	0 [-]	77 [+1]	65 歳	0 名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

（3） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	松野　研司	一身上の都合
2	講師	鈴木　由美子	一身上の都合
3	助教	平川　城太朗	一身上の都合
4	教授	赤井　周司	一身上の都合
5	准教授	左　一八	一身上の都合
6	助教	瀧　優子	一身上の都合

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においては他大学及び民間企業へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は新規採用教員等が担当しており、履修への支障はない。

また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等に掲載し周知を図っている。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5　教員組織の状況

<薬食生命科学総合学府　薬科学専攻　（博士後期課程）>

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	赤井　周司（52）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	教授	濱島　義隆（37）	平成25年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年3月赤井周司教授退職 学府内別研究室の濱島准教授が平成25年4月後任として就任(25)
専任	教授	浅井　章良（48）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	石川　智久（51）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	板井　茂（59）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	菅　敏幸（48）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	豊岡　利正（60）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	眞鍋　敬（46）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
					専任	教授	橋本　博（41）	平成25年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年3月に定年退職した教授の後任として平成25年4月採用(25)
専任	准教授	石川　吉伸（44）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	海野　けい子（58）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	斎藤　真也（46）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	澤田　潤一（42）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	高木　邦明（55）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	武田　厚司（56）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	教授	武田　厚司（56）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年4月昇任（24）
専任	准教授	轟木　堅一郎（38）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	根本　清光（53）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	野口　修治（45）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	濱島　義隆（37）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成25年4月学府内別研究室の教授に就任（25）
専任	講師	井口　和明（55）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	石田　均司（62）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	岩本　憲人（49）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	江木　正浩（40）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	小原　一男（61）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	鈴木 由美子（44）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	~~後任は24年6月採用予定~~ 山口 深雪（32）	平成24年6月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年3月 鈴木由美子講師 退職（24） 平成24年6月後任として山口深雪助教採用(25)
専任	講師	関本 征史（40）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	松野 研司（44）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	講師	~~後任未定~~ 小郷 尚久（39）	平成24年11月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年3月松野研司講師退職(24) 平成24年11月後任として小郷尚久講師採用(25)
専任	講師	横山 英志（36）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
					専任	講師	井之上浩一（37）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年4月指導体制充実のため採用(24)
専任	助教	浅川 倫宏（32）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	井川 貴詞（34）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	岩尾 康範（33）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	海野 雄加（34）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	金子 雪子（35）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	小西 英之（32）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	関 俊哲（36）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	山本 博之（33）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	特任助教	石内勘一郎（32）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	稲井 誠（30）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成23年9月指導体制充実のため稲井助教採用、それに伴い石内特任助教を専任教員から除外(24)
兼担	教授	新井 映子（56）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	伊藤 邦彦（51）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験 遺伝学特論						
兼担	教授	今井 康之（57）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	大島 寛史（62）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	大橋 典男（53）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	呉 直人（59）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	賀川 義之（52）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	熊谷 裕通（57）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	熊澤 茂則（49）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	合田 敏尚（56）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	小林 裕和（57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論						
兼担	教授	菅谷 純子（61）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	鈴木　隆 （56）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	丹治　健一 （57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	中山　勉 （57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※			後任未定			平成25年3月中山勉教授退職(25)
兼担	教授	並木　徳之 （56）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	野口　博司 （61）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	森本　達也 （45）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	山田　浩 （55）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	吉村　紀子 （63）	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム						
兼担	教授	渡辺　達夫 （55）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	新井　英一 （40）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	五十里　彰 （40）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	准教授	市川　陽子 （46）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	上村　和秀 （41）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	准教授	尾上　誠良 （38）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	准教授	川島　博人 （46）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	准教授	河原崎　泰昌 （42）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	栗木　清典 （41）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	桑野　稔子 （49）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	小林　公子 （51）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	兼担	教授	小林　公子 （51）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	届出時記載漏れ(24) 平成25年4月1日教授に昇任(25)
兼担	准教授	左　一八 （49）	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成25年3月左一八准教授退職(25)
兼担	准教授	鈎　信学 （36）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	増田　修一 （43）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	宮嵜　靖則 （48）	平成24年4月	医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	兼担	准教授	宮嵜　靖則 （48）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	届出時の誤記(24)
兼担	准教授	渡辺　賢二 （42）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験 健康長寿科学特論※						
兼担	特任教授	飯田　滋 （68）	平成24年4月	遺伝学特論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	特任准教授	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	専任	講師	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	平成24年4月 特任准教授から講師として採用、それに伴い兼担から専任に変更 (24)
兼担	講師	浅井 知浩 (37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼担	准教授	浅井 知浩 (37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年4月昇任 (25)
兼担	講師	石井 康子 (58)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	井上 和幸 (39)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	内田 信也 (43)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼担	准教授	内田 信也 (43)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成23年10月昇任 (24)
兼担	講師	内野 智信 (38)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	梅原 薫 (50)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	加藤 安宏 (40)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	小菅 和仁 (46)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	円谷 由子 (39)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	講師	林 秀樹 (39)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	講師	三宅 正紀 (45)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	伊藤 由彦 (35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	刀坂 泰史 (31)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	黒羽子 孝太 (38)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	清水 広介 (33)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	高橋 忠伸 (35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼担	講師	高橋 忠伸 (35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年4月昇任 (25)
兼担	助教	田中 紫茉子 (27)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	瀧 優子 (31)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成24年8月瀧優子助教退職(25)
兼担	助教	辻 大樹 (37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	平川 城太朗 (28)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼担	助教	山口 賢彦 (27)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成23年12月 平川助教退職 平成24年4月 後任として山口助教採用(24)
兼担	助教	南 彩 (35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	谷澤 康玄 (48)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	助教	山崎 泰広 (39)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	助教	鍔渕　清史 （28）	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						

（注）・　設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科　〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２）　専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
35 （ 76 ）	0 (0)	35 （ 76 ）	~~34~~ 36 [~~△1~~ +1]	1 [　+1　]	~~35~~ 37 [~~—~~　+2]	65 歳	0 名

（3） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	松野　研司	一身上の都合
2	講師	鈴木　由美子	一身上の都合
3	特任助教	石内　勘一郎	助教新規採用により専任教員から除外
4	教授	赤井　周司	一身上の都合

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員（教授1名及び講師2名）においては他大学へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は新規採用教員等が担当しており、履修への支障はない。

また、石内特任助教については、認可時には完成年度までの採用を前提に専任教員に計上し、現在も引き続き在籍しているが、指導体制充実のため新たに助教を採用したため、当該助教を専任教員としたもので、同じく履修への支障はない。

また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等に掲載し周知を図っている。

（注）・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　食品栄養科学専攻（博士前期課程）＞

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	オオシマ　ヒロシ 大島　寛史 〈62〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 生化学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	教授	コバヤシ　ヒロカズ 小林　裕和 〈57〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 植物機能開発特論 遺伝学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	教授	ナカヤマ　ツトム 中山　勉 〈57〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品分子工学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ			後任未定			平成25年3月31日中山勉教授退職。今年度中に後任を採用予定。「食品分子工学特論」は休講とし、後任が決定次第開講予定。その他の科目は他に担当教員がいるため支障はない。(25)
専	教授	タンジ　ケンイチ 丹治　健一 〈57〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 有機化学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	教授	クマガイ　ヒロミチ 熊谷　裕通 〈57〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 臨床栄養学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	教授	アライ　エイコ 新井　映子 〈56〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 調理科学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	教授	ゴウダ　トシナオ 合田　敏尚 〈56〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 栄養生理学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ 特別インターンシップⅠ						
専	教授	ワタナベ　タツオ 渡辺　達夫 〈55〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品化学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	教授	オオハシ　ノリオ 大橋　典男 〈53〉	平成24年4月	食品科学特論＊ 食品栄養科学コロキウムⅠ＊ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー＊ 微生物学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ＊ インターンシップ						
専	教授	クマザワ　シゲノリ 熊澤　茂則 〈49〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品分析化学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈51〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 人類遺伝学特論 遺伝学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	専	教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈52〉	平成25年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 人類遺伝学特論 遺伝学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	平成25年4月1日 教授に昇格（25）
専	准教授	クワノ トシコ 桑野 稔子 〈49〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 栄養教育学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	准教授	イチカワ ヨウコ 市川 陽子 〈46〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ フードマネジメント特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	准教授	マスダ シュウイチ 増田 修一 〈43〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品衛生学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	准教授	カワラザキ ヤスアキ 河原崎泰昌 〈42〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 生物分子工学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	准教授	クリキ キヨノリ 栗木 清典 〈41〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 公衆衛生学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	准教授	アライ ヒデカズ 新井 英一 〈40〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 臨床栄養管理学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	准教授	フナ ノブタカ 鮒 信学 〈36〉	平成24年4月	食品科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ ケミカルバイオロジー特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	講師	ツムラヤ ヨシコ 円谷 由子 〈39〉	平成24年4月	栄養科学特論※ 食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学専攻セミナー※ 公衆栄養学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	モリタ アキヒト 守田 昭仁 〈56〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	ニワ ヤスオ 丹羽 康夫 〈48〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	オオタ トシロウ 太田 敏郎 〈46〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	スギモト オサム 杉本 収 〈44〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	サトウ ツトム 佐藤 努 〈42〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ			後任未定			平成24年3月31日佐藤努助教退職。担当授業科目は三浦進司准教授が担当(24)
専	助教	カヤシマ ヤスナリ 萱嶋 泰成 〈39〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	モチヅキ カズキ 望月 和樹 〈39〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ			後任未定			平成24年3月31日望月和樹助教退職。担当授業科目は林久由講師が担当(24)
専	助教	イトウ ソウヘイ 伊藤 創平 〈36〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	専	准教授	イトウ ソウヘイ 伊藤 創平 〈36〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品蛋白質工学特論 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	平成24年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加。平成24年4月1日昇任(24)
専	助教	ヨシカワ ユウコ 吉川 悠子 〈35〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	ミヨシ ノリユキ 三好 規之 〈35〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	イシイ タケシ 石井 剛志 〈35〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	イノウエ ヒロコ 井上 広子 〈33〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	サノ アヤミ 佐野 文美 〈32〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	イトウ ケイスケ 伊藤 圭祐 〈32〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	シマムラ ユウコ 島村 裕子 〈32〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	エンドウ カオリ 遠藤 香 〈31〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						
専	助教	サクマ マサエ 佐久間理英 〈30〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	助教	ホソヤ タカヒロ 細谷 孝博 〈34〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	24報告時記載漏れ指導体制充実のため平成24年4月採用（24）
					専	助教	イトウ セイコ 伊藤 聖子 〈37〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	24報告時記載漏れ指導体制充実のため平成24年4月採用（24）
					専	助教	ヨシダ タクヤ 吉田 卓矢 〈39〉	平成24年6月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	指導体制充実のため平成24年6月採用（25）
					専	助教	キム コンスン 金 宗潤 〈35〉	平成25年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ インターンシップ	指導体制充実のため平成25年4月採用（25）
兼担	教授	イトウ クニヒコ 伊藤 邦彦 〈51〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	特任教授	イイダ シゲル 飯田 滋 〈68〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	講師	イソムラ ダイ 磯村 大 〈48〉	平成24年4月	精神衛生学特論						
兼任	講師	ソノベ タカシ 園部 尚 〈70〉	平成24年4月	知的財産管理入門						
兼任	講師	シンジョウ タカシ 新庄 孝 〈49〉	平成24年4月	知的財産管理入門	兼任	非常勤	イトウ ヒロユキ 伊藤 浩之 〈44〉	平成24年4月	知的財産管理入門	科目を担当する非常勤講師の変更（24）
兼任	講師	ヤマシタ ヨシヒロ 山下 善弘 〈42〉	平成24年4月	知的財産管理入門						
					専	准教授	ミウラ シンジ 三浦 進司 〈46〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ 栄養化学特論 インターンシップ	平成24年3月31日佐藤努助教退職のため平成24年度より担当者の変更（24）
					専	講師	ハヤシ ヒサヨシ 林 久由 〈36〉	平成24年4月	食品栄養科学コロキウムⅠ※ 食品栄養科学特別実験 食品栄養科学特別演習Ⅰ 食品栄養科学専攻セミナー※ 食品栄養科学コロキウムⅡ※ 生理学特論 インターンシップ	平成24年3月31日望月和樹助教退職のため平成24年度より担当者の変更（24）

（注）・ 設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程））の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してくださし

- 後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
- 辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
- 年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
- 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
36 (36)	0 0	36 (36)	39 [3]	0 [ ]	39 [3]	65 歳	0 名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

（3） 専任教員辞任等の理由

番　号	職　位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	佐藤　努	一身上の都合
2	助教	望月　和樹	一身上の都合
3	教授	中山　勉	一身上の都合
4			
5			

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においても他大学へ転出するものでるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。本学としては、後任を補充し教育上支障がない体制をとる所存である。

また、学生への対応については、研究室所属の学生には専攻として研究室変更により研究指導体制を保証し、講義の受講生には掲示やWeb上に掲載し周知を図った。

（注）・上記（3）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　食品栄養科学専攻（博士後期課程）＞

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ナカヤマ ツトム 中山 勉 ＜57＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成25年3月31日中山勉教授退職。今年度中に後任を採用予定。(25)
専	教授	タンジ ケンイチ 丹治 健一 ＜57＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	クマガイ ヒロミチ 熊谷 裕通 ＜57＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	アライ エイコ 新井 映子 ＜56＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	ワタナベ タツオ 渡辺 達夫 ＜55＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	クマザワ シゲノリ 熊澤 茂則 ＜49＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	クワノ トシコ 桑野 稔子 ＜49＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	イチカワ ヨウコ 市川 陽子 ＜46＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	マスダ シュウイチ 増田 修一 ＜43＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	カワラザキ ヤスアキ 河原崎泰昌 ＜42＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	クリキ キヨノリ 栗木 清典 ＜41＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	アライ ヒデカズ 新井 英一 ＜40＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	フナ ノブタカ 舩 信学 ＜36＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	講師	ツムラヤ ヨシコ 円谷 由子 ＜39＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	モリタ アキヒト 守田 昭仁 ＜56＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	ニワ ヤスオ 丹羽 康夫 ＜48＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	オオタ トシロウ 太田 敏郎 ＜46＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	スギモト オサム 杉本 収 ＜44＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	サトウ ツトム 佐藤 努 ＜42＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年3月31日佐藤努助教退職。担当授業科目は三浦進司准教授が担当(24)
専	助教	カヤシマ ヤスナリ 萱嶋 泰成 ＜39＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	モチヅキ カズキ 望月 和樹 ＜39＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年3月31日望月和樹助教退職。担当授業科目は林久由講師が担当(24)
専	助教	イトウ ソウヘイ 伊藤 創平 ＜36＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	准教授	イトウ ソウヘイ 伊藤 創平 ＜37＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月助教から准教授に昇格(24)
専	助教	ヨシカワ ユウコ 吉川 悠子 ＜35＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	ミヨシ ノリユキ 三好 規之 ＜35＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	イシイ タケシ 石井 剛志 ＜35＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	イノウエ ヒロコ 井上 広子 ＜33＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	サノ アヤミ 佐野 文美 ＜32＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	イトウ ケイスケ 伊藤 圭祐 ＜32＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	シマムラ ユウコ 島村 裕子 ＜32＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	エンドウ カオリ 遠藤 香 ＜31＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	サクマ マサエ 佐久間理英 ＜30＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
					専	助教	ホソヤ タカヒロ 細谷 孝博 ＜34＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	24年度報告時記載漏れ。指導体制充実のため平成24年4月採用(24)
					専	助教	イトウ セイコ 伊藤 聖子 ＜37＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	24年度報告時記載漏れ。指導体制充実のため平成24年4月採用(24)
					専	助教	ヨシダ タクヤ 吉田 卓矢 ＜39＞	平成24年6月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	指導体制充実のため平成24年6月採用(25)
					専	助教	キム ヨンスン 金 [illegible] (35)	平成25年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	指導体制の充実のため平成25年4月1日採用(25)
兼担	教授	イトウ クニヒコ 伊藤 邦彦 ＜51＞	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	教授	イタイ シゲル 板井 茂 ＜59＞	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	教授	オオシマ ヒロシ 大島 寛史 ＜62＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
兼担	教授	コバヤシ ヒロカズ 小林 裕和 ＜57＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論						
兼担	教授	ゴウダ トシナオ 合田 敏尚 ＜56＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
兼担	教授	オオハシ ノリオ 大橋 典男 ＜53＞	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
兼担	教授	ヨシムラ ノリコ 吉村 紀子 ＜63＞	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム						
兼担	特任教授	イイダ シゲル 飯田 滋 ＜68＞	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	准教授	ノグチ シュウジ 野口 修治 ＜45＞	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	准教授	オノウエ サトミ 尾上 誠良 ＜38＞	平成24年4月	薬剤学特論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈51〉	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論	兼担	教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈52〉	平成25年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論	平成25年4月1日昇格(25)
兼担	特任准教授	ホーク フィリップ 〈44〉	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII						
兼担	助教	イワオ ヤスノリ 岩尾 康範 〈33〉	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	助教	イトウ ヨシヒコ 伊藤 由彦 〈35〉	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	助教	タキ ユウコ 瀧 侑子 〈31〉	平成24年4月	薬剤学特論			後任未定			平成24年8月退職(25)
					専	准教授	ミウラ シンジ 三浦 進司 〈46〉	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月佐藤努助教退職のため平成24年度より担当者の変更(24)
					専	講師	ハヤシ ヒサヨシ 林 久由 〈36〉	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月望月和樹助教退職のため平成24年度より担当者の変更(24)

（注）・届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○研究科　○○専攻（○○課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２）専任教員数

届出時の計画				変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
31 （31）	0 （0）	31 （31）	0 （0）	34 ［3］	0 （0）	34 ［3］	65 歳	0 名

（注）・「届出時の計画」には，届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

（3） 専任教員辞任等の理由

番　号	職　位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	中山　勉	一身上の都合
2			
3			

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

　大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においても他大学へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。本学としては、後任を補充し教育上支障がない体制をとる所存である。

　また、学生への対応については、研究室所属の学生には専攻として研究室変更により研究指導体制を保証し、講義の受講生には掲示やWeb上に掲載し周知を図った。

（注）・上記（３）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　環境科学専攻（修士課程）＞

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ワカバヤシ ケイジ 若林 敬二 〈63〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 インターンシップ	専	教授	ワカバヤシ ケイジ 若林 敬二 〈63〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 インターンシップ 環境共生学特論 化学環境特論	平成24年度より担当科目の追加(24)
専	教授	クワバラ アツカズ 桑原 厚和 〈60〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境生命科学特論 環境生物学総論 生態システム生理学特論 インターンシップ						
専	教授	サカタ マサヒロ 坂田 昌弘 〈58〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 地域・地球環境学特論 水質・土壌環境特論 インターンシップ	専	教授	サカタ マサヒロ 坂田 昌弘 〈59〉	平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 地域・地球環境学特論 水質・土壌環境特論 インターンシップ 環境保全学特論 環境政策特論	平成25年4月担当授業科目の変更(25)
専	教授	シモイ カヨコ 下位 香代子 〈58〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境生命科学特論 環境トキシコロジー特論 環境健康科学特論 インターンシップ						
専	教授	イワホリ ケイスケ 岩堀 恵祐 〈58〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境共生学特論 環境保全学特論 環境工学特論 インターンシップ			後任未定			平成25年3月31日岩堀恵祐教授退職。後任の採用計画は未定。「環境保全学特論」は坂田教授が担当。「環境工学特論」は休講。その他の科目は他に担当教員がいるため支障はない。(25)
専	教授	コバヤシ トオル 小林 亨 〈51〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 地域・地球環境学特論 生態化学特論 インターンシップ	専	教授	コバヤシ トオル 小林 亨 〈52〉	平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 ~~地域・地球環境学特論~~ 環境生命科学特論 生態化学特論 インターンシップ	平成25年4月担当授業科目の変更(25)
専	准教授	アマガイ タカシ 雨谷 敬史 〈48〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 地域・地球環境学特論 環境リスクアセスメント特論 大気環境特論 インターンシップ						
専	准教授	イブキ ユウコ 伊吹 裕子 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境生命科学特論 環境トキシコロジー特論 光環境生命科学特論 インターンシップ						
専	准教授	タニ アキラ 谷 晃 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 地域・地球環境学特論 環境生物学総論 植物環境特論 インターンシップ						
専	准教授	マキノ マサカズ 牧野 正和 〈45〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 地域・地球環境学特論 環境化学総論 物性化学特論 インターンシップ	専	准教授	マキノ マサカズ 牧野 正和 〈46〉	平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 ~~地域・地球環境学特論~~ 環境化学総論 物性化学特論 環境共生学特論 インターンシップ	平成25年4月担当授業科目の変更(25)
専	准教授	タニ ユキノリ 谷 幸則 〈44〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境生命科学特論 環境分析・評価特論Ⅰ 環境分析・評価特論Ⅱ 環境微生物学特論 インターンシップ	専	准教授	タニ ユキノリ 谷 幸則 〈45〉	平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 ~~環境生命科学特論~~ 環境分析・評価特論Ⅰ 環境分析・評価特論Ⅱ 環境微生物学特論 地域・地球環境学特論 インターンシップ	平成25年4月担当授業科目の変更(25)

専	助教	サイトウ キエコ 斎藤 貴江子 〈51〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 資源・エネルギー特論 インターンシップ						
専	助教	シオザワ タツシ 塩澤 竜志 〈49〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅰ インターンシップ						
専	助教	クラシナ チカラ 倉科 力 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅰ インターンシップ						
専	助教	ナイトウ ヒロタカ 内藤 博敬 〈44〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅱ インターンシップ						
専	助教	イワムラ タケル 岩村 武 〈41〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境化学総論 環境分析・評価特論Ⅱ 資源・エネルギー特論 インターンシップ			後任未定			平成24年3月31日岩科武助教退職。担当授業科目は坂口眞人教授が担当(24)「環境化学総論」は、他に担当教員が1名いるため、支障はない。「環境分析・評価特論Ⅱ」は、他に担当教員が2名いるため、支障はない。
専	助教	テラサキ マサノリ 寺崎 正紀 〈39〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境情報科学特論 インターンシップ						
専	助教	セキカワ タカヒロ 関川 貴寛 〈39〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境保全学特論 インターンシップ						
専	助教	カラキ シンイチロウ 唐木 晋一郎 〈37〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境生物学総論 インターンシップ						
専	助教	サカキバラ ヒロユキ 榊原 啓之 〈37〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅱ インターンシップ			後任未定			平成24年3月31日蒲原啓之助教退職。担当授業科目は国包章一教授が担当(24)「環境分析・評価特論Ⅱ」は、他に担当教員が2名いるため、支障はない。
専	助教	ミヤケ ユウイチ 三宅 祐一 〈34〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅰ 環境リスクアセスメント特論 インターンシップ						
専	助教	トシキ コウスケ 戸敷 浩介 〈33〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 生活環境管理特論 インターンシップ	専	助教	トシキ コウスケ 戸敷 浩介 〈34〉	平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 ~~生活環境管理特論~~ 環境政策特論 インターンシップ	平成25年4月担当授業科目の変更(25)
専	助教	トヨオカ タツシ 豊岡 達士 〈32〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境生物学総論 インターンシップ						
専	助教	ミツノブ サトシ 光延 聖 〈32〉	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅰ インターンシップ						
専	助教				専	助教	ヤスダ ミチコ 保田 倫子 〈32〉	平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 環境分析・評価特論Ⅱ インターンシップ	指導体制の充実のため平成25年4月採用(25)

兼担	教授	イトウ クニヒコ 伊藤 邦彦 〈51〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	教授	コバヤシ ヒロカズ 小林 裕和 〈57〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	特任教授	イイダ シゲル 飯田 滋 〈68〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	准教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈51〉	平成24年4月	遺伝学特論	兼担	教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈52〉	平成25年4月	遺伝学特論	平成25年4月教授に昇任(25)
兼担	講師	ヨシオカ ヒサシ 吉岡 寿 〈67〉	平成24年4月	環境材料学特論			後任未定			平成25年3月退職。担当授業科目は休講とし、後任が決定次第開講予定。(25)
兼担	講師	アクタガワ チタカ 芥川 知孝 〈62〉	平成24年4月	環境マネジメント特論						
兼担	講師	ソノベ タカシ 園部 尚 〈70〉	平成24年4月	知的財産管理入門						
兼担	講師	シンジョウ タカシ 新庄 孝 〈49〉	平成24年4月	知的財産管理入門	兼任	講師	サトウ ヒロユキ 佐藤 浩之 〈44〉	平成24年4月	知的財産管理入門	科目を担当する講師の変更(24)
兼担	講師	ヤマシタ ヒロヒロ 山下 浩弘 〈42〉	平成24年4月	知的財産管理入門						
					専 兼担	教授 特任教授	サカグチ マサト 坂口 眞人 〈64〉 〈65〉	平成24年4月 平成25年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 インターンシップ 環境共生学特論 資源・エネルギー特論 環境高分子化学特論 環境共生学特論 資源・エネルギー特論 環境高分子化学特論	平成24年3月岩村武助教退職のため平成24年度より担当者の変更(24)完成年度以前に退職予定(24) 平成25年3月坂口眞人教授退職。平成25年4月特任教授に採用。「環境共生学特論、資源・エネルギー特論、環境高分子化学特論」を担当。「環境科学特別実験、環境科学コロキウム、環境科学専攻セミナー、フィールドワーク演習、インターンシップ」は他に担当教員がいるため支障はない。(25)
					専	教授	クニカネ ショウイチ 国包 章一 〈61〉 後任未定	平成24年4月	環境科学特別実験 環境科学コロキウム 環境科学専攻セミナー フィールドワーク演習 インターンシップ 環境共生学特論 生活環境管理特論 環境政策特論	平成24年3月榊原啓之助教退職のため平成24年度より担当者の変更(24)完成年度以前に退職予定。(24) 平成25年3月国包章一教授退職。「環境科学特別実験、環境科学コロキウム、環境科学専攻セミナー、フィールドワーク演習、インターンシップ、環境共生学特論、環境政策特論」は他に担当教員がいるため支障はない。「生活環境管理特論」は休講とし、後任が決定次第、開講予定。(25)

（注）・ 設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科　〇〇専攻（〇〇課程））の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・ 年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（2） 専任教員数

届出時の計画				変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
24 (24)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	22 [△2]	0 [0]	22 [△2]	65 歳	0 名

（注）・「届出時の計画」には，届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	岩村　武	一身上の都合
2	助教	榊原　啓之	一身上の都合
3	教授	坂口　貞人	定年退職
4	教授	国包　章一	定年退職
5	教授	岩堀　恵祐	一身上の都合

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においても他大学へ転出するものでるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。本学としては、後任を補充し教育上支障がない体制をとる所存である。

また、学生への対応については、研究室所属の学生には専攻として研究室変更により研究指導体制を保証し、講義の受講生には掲示やWeb上に掲載し周知を図った。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　環境科学専攻（後期課程）＞

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ワカバヤシ　ケイジ 若林　敬二 〈63〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	ワカバヤシ　ケイジ 若林　敬二 〈64〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	教授	クワバラ　アツカズ 桑原　厚和 〈60〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	クワバラ　アツカズ 桑原　厚和 〈61〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	教授	サカタ　マサヒロ 坂田　昌弘 〈58〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	サカタ　マサヒロ 坂田　昌弘 〈59〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	教授	シモイ　カヨコ 下位　香代子 〈58〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	シモイ　カヨコ 下位　香代子 〈59〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	教授	イワホリ　ケイスケ 岩堀　恵祐 〈58〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	イワホリ ケイスケ 岩堀 恵祐 〈59〉 後任未定	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24) 平成25年3月31日岩堀恵祐教授退職。後任の採用計画は未定。授業科目は他の教員がいるため支障はない。(25)
専	教授	コバヤシ　トオル 小林　亨 〈51〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	コバヤシ　トオル 小林　亨 〈52〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	准教授	アマガイ　タカシ 雨谷　敬史 〈48〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	アマガイ　タカシ 雨谷　敬史 〈49〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	准教授	イブキ　ユウコ 伊吹　裕子 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	イブキ　ユウコ 伊吹　裕子 〈47〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	准教授	タ　ニ　アキラ 谷　晃 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	タ　ニ　アキラ 谷　晃 〈47〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	准教授	マキノ　マサカズ 牧野　正和 〈45〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	マキノ　マサカズ 牧野　正和 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	准教授	タニ　ユキノリ 谷　幸則 〈44〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	タニ　ユキノリ 谷　幸則 〈45〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	サイトウ　キエコ 斎藤　貴江子 〈51〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	サイトウ　キエコ 斎藤　貴江子 〈52〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	シオザワ　タツシ 塩澤　竜志 〈49〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	シオザワ　タツシ 塩澤　竜志 〈50〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	ワラシナ　チカラ 藁科　力 〈46〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	ワラシナ　チカラ 藁科　力 〈47〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	ナイトウ　ヒロタカ 内藤　博敬 〈44〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	ナイトウ　ヒロタカ 内藤　博敬 〈45〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	イワムラ　タケル 岩村　武 〈41〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年3月31日岩科武助教退職。担当授業科目は坂口眞人教授が担当(24)
専	助教	テラサキ　マサノリ 寺崎　正紀 〈39〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	テラサキ　マサノリ 寺崎　正紀 〈40〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	セキカワ　タカヒロ 関川　貴寛 〈39〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	セキカワ　タカヒロ 関川　貴寛 〈40〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	カラキ　シンイチロウ 唐木　晋一郎 〈37〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	カラキ　シンイチロウ 唐木　晋一郎 〈38〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	サカキバラ　ヒロユキ 榊原　啓之 〈37〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年3月31日榊原啓之助教退職。担当授業科目は国包章一教授が担当(24)
専	助教	ミヤケ　ユウイチ 三宅　祐一 〈34〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	ミヤケ　ユウイチ 三宅　祐一 〈35〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)

専	助教	トシキ コウスケ 戸敷 浩介 〈33〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	トシキ コウスケ 戸敷 浩介 〈34〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	トヨオカ タツシ 豊岡 達士 〈32〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	トヨオカ タツシ 豊岡 達士 〈33〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
専	助教	ミツノブ サトシ 光延 聖 〈32〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	ミツノブ サトシ 光延 聖 〈33〉	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目名変更(24)
					専	助教	ヤスダ ミチコ 保田 倫子 〈33〉	平成25年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	指導体制充実のため平成25年4月採用(25)
兼担	教授	イトウ クニヒコ 伊藤 邦彦 〈51〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	教授	コバヤシ ヒロカズ 小林 裕和 〈57〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	教授	ヨシムラ ノリコ 吉村 紀子 〈63〉	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム						
兼担	特任教授	イイダ シゲル 飯田 滋 〈68〉	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	准教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈51〉	平成24年4月	遺伝学特論	兼担	教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 〈52〉	平成25年4月	遺伝学特論	平成25年4月教授に昇格(25)
兼担	特任准教授	ホーク フィリップ 〈44〉	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII						
					専	教授	サカグチ マサト 坂口 眞人 〈64〉 後任未定	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年3月岩村武助教退職のため平成24年度より担当者の変更。完成年度以前に退職予定(24) 平成25年3月坂口眞人教授退職。後任の採用計画は未定。授業科目は他の教員がいるため支障はない。(25)
					専	教授	クニカネ ショウイチ 国包 章一 〈64〉 後任未定	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年3月榊原啓之助教退職のため平成24年度より担当者の変更。完成年度以前に退職予定(24) 平成25年3月国包章一教授退職。後任の採用計画は未定。授業科目は他の教員がいるため支障はない。(25)

(注)・ 設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。

なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。

・ 年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

（2） 専任教員数

届出時の計画				変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
24 (24)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	22 '(△2)	0 (0)	22 '(△2)	65 歳	0 名

（注）・「届出時の計画」には，届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に届出時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（3） 専任教員辞任等の理由

番　号	職　位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	岩村　武	一身上の都合
2	助教	榊原　啓之	一身上の都合
3	教授	岩堀　恵祐	一身上の都合

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

　大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においても他大学へ転出するものでるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。本学としては、後任を補充し教育上支障がない体制をとる所存である。
　また、学生への対応については、研究室所属の学生には専攻として研究室変更により研究指導体制を保証し、講義の受講生には掲示やWeb上に掲載し周知を図った。

（注）・上記（３）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5　教員組織の状況

＜薬食生命科学総合学府　薬食生命科学専攻　（博士後期課程）＞

（１）　担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	今井　康之（57）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	教授	奥　直人（59）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	教授	小林　裕和（57）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論 食品科学特論Ⅱ※ 薬食機能開発演習						
専任	教授	野口　博司（61）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	教授	大島　寛史（62）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 栄養科学特論Ⅱ※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	教授	鈴木　隆（56）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	教授	合田　敏尚（56）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 栄養科学特論Ⅱ※ 臨床栄養薬物学演習 臨床栄養エキスパート演習						
専任	教授	大橋　典男（53）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	准教授	小林　公子（51）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論 臨床栄養薬物学演習	専任	教授	小林　公子（51）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論 臨床栄養薬物学演習	届出時記載漏れ（24） 平成25年4月1日 教授に昇任（25）
専任	准教授	左　一八（49）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習			後任未定			平成25年3月左一八准教授退職（25）
専任	准教授	川島　博人（46）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	准教授	尾上　誠良（38）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習						
専任	准教授	渡辺　賢二（42）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	講師	梅原　薫（50）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
専任	講師	三宅　正紀（45）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
専任	講師	浅井　知浩（37）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	専任	准教授	浅井　知浩（37）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	平成25年4月昇任（25）
専任	助教	黒羽子　孝太（38）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
専任	助教	南　彰（35）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	髙橋　忠伸（35）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	専任	講師	髙橋　忠伸（35）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	平成25年4月昇任（25）
専任	助教	清水　広介（33）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習						
専任	助教	伊藤　由彦（35）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習						
専任	助教	滝　優子（31）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習			後任未定			平成24年8月滝優子助教退職（25）
専任	助教	鰐渕　清史（28）	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
兼担	教授	吉村　紀子（63）	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム						
兼担	教授	中山　勉（57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※			後任未定			平成25年3月中山勉教授退職（25）
兼担	教授	豊岡　利正（60）	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習						
兼担	教授	丹治　健一（57）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	伊藤　邦彦（51）	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	教授	板井　茂（59）	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	教授	熊谷　裕通（57）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	渡辺　達夫（55）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	熊澤　茂則（49）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	新井　映子（56）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	特任教授	飯田　滋（68）	平成24年4月	遺伝学特論						
兼担	准教授	武田　厚司（56）	平成24年4月	高齢者疾患予防学演習	兼担	教授	武田　厚司（56）	平成24年4月	高齢者疾患予防学演習	平成24年4月昇任（24）
兼担	准教授	桑野　稔子（49）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	増田　修一（43）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	野口　修治（45）	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	准教授	河原崎　泰昌（42）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	市川　陽子（46）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	新井　英一（40）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	鉼　信学（36）	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	栗木　清典（41）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	轟木　堅一郎（38）	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習						
兼担	特任准教授	ホーク　フィリップ（44）	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	兼担	講師	ホーク　フィリップ（44）	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	平成24年4月特任准教授
兼担	講師	円谷　由子（39）	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	助教	岩尾　康範（33）	平成24年4月	薬剤学特論						
兼担	助教	内田　信也（43）	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習	兼担	准教授	内田　信也（43）	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習	平成23年10月講師から，
兼担	助教	閔　俊哲（36）	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習						

（注）・　設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○研究科　○○専攻（○○課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２）　専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
23 （23）	0 (0)	23 （23）	~~23~~ 21 [~~－~~ △2]	0 [　－　]	~~23~~ 21 [~~－~~ △2]	65 歳	0 名

（3） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	左　一八	一身上の都合
2	助教	瀧　優子	一身上の都合
3			

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。　当該教員においては他大学及び民間企業へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は新規採用教員等が担当しており、履修への支障はない。

また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等に掲載し周知を図っている。

（注）・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

留意事項に対する履行状況等

6　留意事項に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （２４年４月）	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調　　査　　時 （△△年△△月）			
設置計画履行状況 調　　査　　時 （□□年□□月）			
設置計画履行状況 調　　査　　時 （●●年●●月）			

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

その他全般的事項

7　その他全般的事項

＜薬食生命科学総合学府＞

（1） 設置計画変更事項等

届　出　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・　１～６の項目により記入した事項以外で，届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

① 実施体制

a　委員会の設置状況

全学のＦＤ委員会の設置

薬食生命科学総合学府ＦＤ委員会を設置

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学ＦＤ委員会に委員3名が参加しているほか、必要に応じて薬食生命科学総合学府ＦＤ委員会を適宜開催することとしている。

c　委員会の審議事項等

ＦＤ活動の年間事業計画など

② 実施状況

a　実施内容

・　授業評価アンケートの実施及び教員へのフィードバック
・　教員相互の授業参観
・　教員相互の勉強会の開催
・　全学ＦＤ委員会が開催するハラスメント研修会等への参加

b　実施方法

・　学生への授業評価アンケート調査を実施
・　教員同士の意見交換等を通じた勉強会の開催
・　全学ＦＤ委員会が開催するハラスメント研修会等への参加

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・　学生への授業評価アンケート調査は教員全員が１科目以上を実施
・　年数回の教員同士の意見交換等を通じた勉強会を開催
・　全学ＦＤ委員会が開催するハラスメント研修会は複数回開催し、全教員が出席できるよう配慮している。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価は、全学的に実施されているため、評価項目については全学ＦＤ委員会が前年度の実施状況を踏まえ毎年見直しを行っている。薬食生命科学総合学府においては、各専攻単位のＦＤ委員会において、評価結果を授業改善に効果的に反映させる具体的手法について検討し、一歩ずつ前進を図っている。

（注）・「①a　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

薬食生命科学総合学府は、24年4月に設置されたばかりであり、現時点では総括評価等は実施途上にある。本学では、中期計画に基づき毎年、年度計画を策定し、年度終了後に自己点検・評価を実施し、教育・研究活動の達成管理を行っている。本学府においても、中期計画、年度計画に基づいた自己点検・評価を実施していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・毎年、対象年度の翌年度の8月頃に公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成２１年度に大学として評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受診済み

（注）・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無　　（ ㊒ ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）　　（ 平成25年6月 ）